

「うた乃」令和6年度の作付け結果と課題



三重県中央農業改良普及センター
普及企画室 地域農業推進課



令和6年度産の作付結果

■ 許諾別作付状況

- ① 団体許諾: 20戸 46.2a ② 個人許諾: 23戸 32.5a

■ 育苗期～定植期の特徴

- ① 花芽分化 … 9/25頃に分化を確認し定植（R5作は9/20前後）
R5作より同程度～5日遅れ
- ② 不時出蕾 … 育苗期後半、葉柄中硝酸態イオン濃度が低下したほ場で、発生を確認（ただし、株によるバラつきあり）
- ③ 炭疽病 … 完全な抵抗性ではない。条件によっては発生する。
➡ 特に、かん水や降雨による土壌の過湿には要注意！



2 令和6年度産の栽培結果

■ 本圃栽培期の特徴

- ① 収穫開始 … 11月下旬～（年内はL中心、年明けから2L中心）
- ② 果実品質 … 第1番果房はL以下の小玉あり。
 - … 第2番果房以降、頂果を中心に「縦溝果、空洞果」が多発
 - … 春先に味落ちはあるものの、他品種と比べると総じて糖度は高め（12度以上）で、食味は高評価
- ③ 心どまり株 … 育苗期後半の葉柄中硝酸態イオン濃度が低いほ場で発生有（約1割）
- ④ その他 … 前作見られた1.5番の出蕾がほとんどなく、大きな中休みは生じなかったものの1月までの収量減
 - … 栽培暦に従い摘果を実施したものの一定量の小玉果（規格外2S以下）が発生（日収穫量全体の10%前後）



2 令和6年度産の栽培結果

■ 頂果で見られる「縦溝果・空洞果」

縦溝果



空洞果





3 令和7年度産に向けた課題

	課 題		対 策
①	不時出蕾、心どまり株の発生抑制	➡	・ 育苗後半の肥培管理の改善 (極度の肥料切れに注意)
②	第2番果房以降の頂果の縦溝果・空洞果の発生抑制	➡	・ 草勢管理の徹底(樹勢が旺盛にならないように) ・ 早めの頂果摘果による影響確認
③	暖候期以降の先白果・先青果の発生抑制	➡	・ 暖候期に入る前の肥培管理改善による樹勢の調整
④	2月から3月の管理作業(葉かき、果梗除去、摘果)の遅れ	➡	・ 収穫と管理作業が重ならないよう早め早めの管理の徹底
⑤	収量の伸び悩み(中休み、小玉果過多による影響)	➡	・ 樹勢が旺盛になりすぎない程度に定植後からの初期生育の確保 ・ 樹勢に応じた摘果の励行



4 育苗管理

■ 種子繁殖型イチゴ品種の育苗期の違いについて

(左) うた乃 (右) よつぼし



※ いずれも6月17日播種
(農業研究所)

➡ 「うた乃」は
「よつぼし」よりも
... 生育が遅め



4 育苗管理

■ 鉢上げ時の再確認 ①



同じセルトレイ内でも
個体差がある



根巻き状況にも
バラツキがある



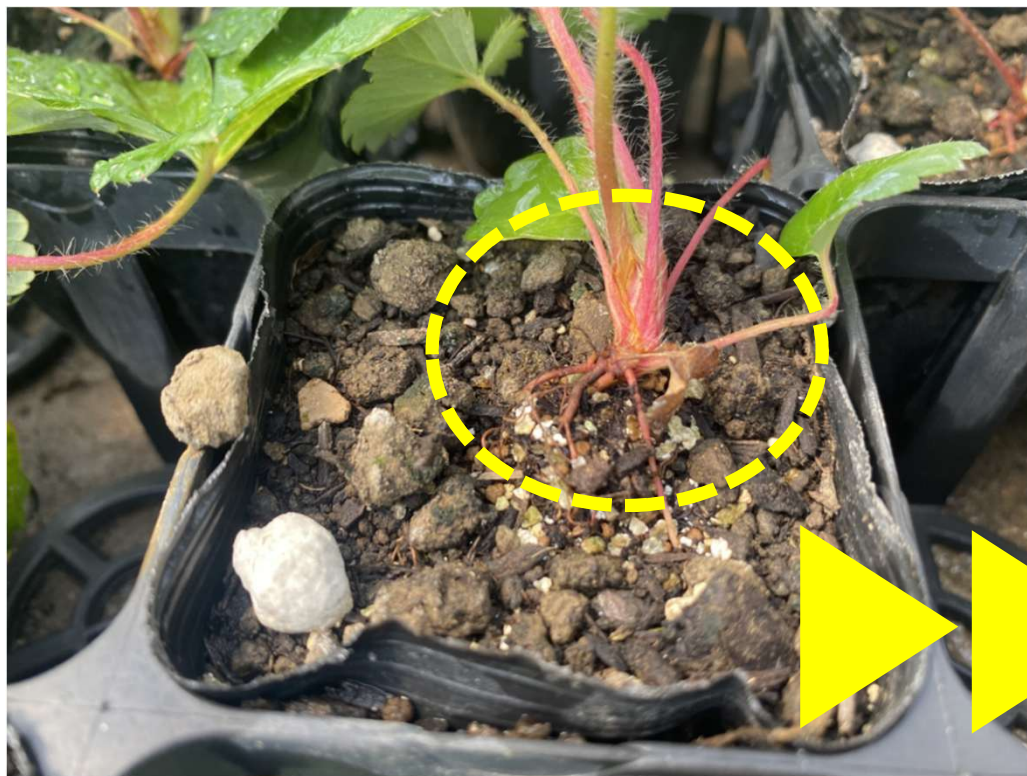
植える時には
注意が必要!

… 根を傷めないよう
直接引き抜かず、
ピンセット等を使う

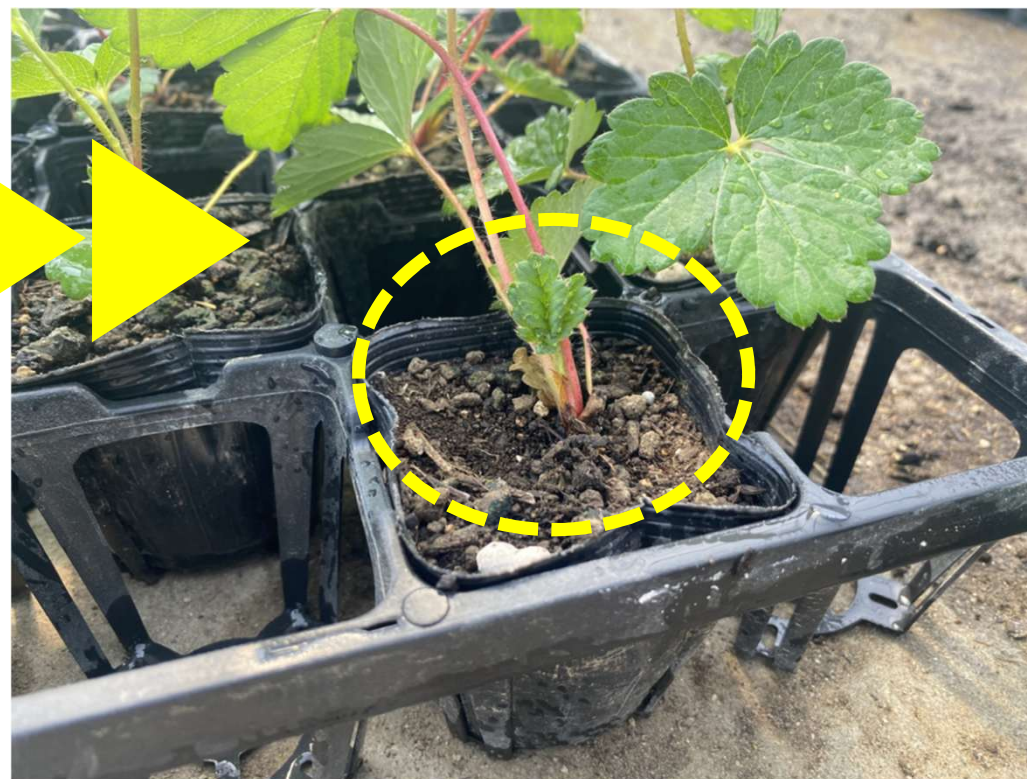


4 育苗管理

■ 鉢上げ時の再確認 ②



- 「浮き根」となっている場合もあるため、培土を被せて、やや深植え気味に植える
- かん水圧、散布圧を調整する
- かん水、農薬散布等で根がむき出しになってきたら、培土を被せる



- × 浅植えにしすぎた
- × かん水圧が強い
- × 農薬散布圧が強い